

ペインクリニックのご紹介

朝霞台中央総合病院

皆様には、ペインクリニックといってもまだなじみの少ない言葉かもしれませんが、
 どのようなところなのかご紹介させていただきます。

麻酔科 小高桂子
 麻酔科 石橋桜子

Q.ペインクリニックってどんなところですか？

A. 痛みの診断・治療を行う診療科で、当院では麻酔科・ペインクリニック専門医が担当しています。

ここで診断や治療を行う代表的な痛みとしては、腰痛・手足の痛みや冷え・頭痛や顔の痛み・肩こりや首の痛みなどです。当院では、からだの痛みに対しては整形外科と協力して診療を行っています。また、帯状疱疹、がんが原因である痛みに対しても皮膚科や外科と連携して治療を行います。痛みの伴わない病気として、突発性難聴や顔面麻痺なども当科での治療の対象となります。

Q.ペインクリニックではどういう診療をするのでしょうか？

A. 痛みは病気やけがをした時の自覚症状ですが、血圧や肝機能、発熱のように調べると数字で結果が分かるようなものではないために、他人からはわかりにくく、つらい思いをされている患者さんが多くいらっしゃいます。当科は、患者さんの痛みの原因や症状を主に問診から確認し、必要であれば追加の検査を行って治療につなげていきます。具体的には、内服薬の投与や、点滴、「神経ブロック」といわれる注射などで 痛みの治療を行います。

Q.神経ブロックとはどんなものなのでしょうか？

A. 神経ブロックとは、痛みを感じる原因となっている部分や神経の周囲に局所麻酔薬を注射し、その部分の知覚神経や痛みを伝える脳への経路をブロックすることによって痛みを軽減する治療法です。その意義・効果には以下のような点が挙げられます。

1.痛みの悪循環を断ち切ります。

痛みは知覚神経を通して頭で痛みとして感じるだけでなく、反射性にその部分への血流を悪くしたり、ケイレン(凝り)などを引き起こし、さらに痛みを悪くするという悪循環を 形成します。特に慢性的に痛みのある方はこの傾向が強くなるため、この悪循環を断つことによって、ブロックに使用した薬の作用時間以上の効果を得ることができます。

2.血流を改善します。

自律神経の一種である交感神経をブロックすることによって、血管を拡張させ血流を良くします。血の巡りが悪いことによる痛みを取ることで、血行を良くして自然治癒力を高めることができます。皆さんは神経ブロックの注射はとても痛いとお考えのことが多いのですが、点滴を受ける時とさほど違いはありませんのでご安心ください。実際に行う際には、詳しく説明をさせていただきます。

ペインクリニック

毎週水曜日 14:30～17:00(予約制)

医師 小高桂子

※診察をご希望の方は、

まず主治医にご相談ください

帯状疱疹(ヘルペス)とペインクリニック

帯状疱疹(ヘルペス)の原因となるのは、小さな頃にかかった水痘(水ぼうそう)のウイルスです。このウイルスは、水痘にかかった時からずっと体の中のある神経の根元に冬眠しています。そして、体力が低下した時などに再び活動を始め神経炎を起こし、その神経が関係する体の部分の皮フにたくさんの小さな発疹(水ぶくれ)を作ります。体の一部に帯状に発疹ができることが多いため、帯状疱疹と呼ばれています。皮膚の変化が起こる前後に、同じ部分に痛みを感じる場合が多いようです。

この帯状疱疹の治療は、皮膚症状の改善と痛みの治療になりますが、まずは皮膚科を受診してください。早期に抗ウイルス剤を使用することによって、皮膚や神経のダメージを少なくすることができます。痛みの治療は、皮膚

科でも行いますが、痛みの症状が強い時は特別な治療が必要になります。強い痛みを我慢し続けると、痛みを感じる部分の感受性が高まってしまい、のちに帯状疱疹後神経痛となることがあります。この神経痛にいったんなってしまうと、非常に治りが悪くなるため、早期にペインクリニックで痛みを減らす治療を受けていただくことで、神経痛になるのを防ぐことができます。この場合、ペインクリニックでの治療は主として神経ブロックになりますが、同時に内服や必要に応じ点滴の治療も行います。また、帯状疱疹後神経痛になってしまったとしても、治療を受けていただくことでその程度を軽くすることができる場合も多いので、あきらめないで一度ペインクリニックにご相談ください。